

日本獣医生命科学大学 同窓会報

第50号

平成29年1月15日発行
日本獣医生命科学大学
同窓会
東京都武蔵野市
境南町1-7-1
発行者 中 條 眞二郎
直通電話・FAX
0422-33-2916
E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
URL <http://nvlu-dosokai.academic-sol.com/>

同窓会維新の平成二十九年になるか

日本獣医生命科学大学同窓会

会長 中 條 眞二郎



同窓生の皆様、希望に満ちた新年を迎えられたこと御喜び申し上げます。

昨年は、数年前の東日本震災の復興が進まないうちに、熊本を震源とした九州大震災に見舞われました。度々訪れ、堅固と思われていた名城である熊本城の壊滅的な映像を目にし、地震の恐ろしさを知らされました。被災された同窓生に御見舞い申しあげます。

また、地球温暖化の影響か、大雨や異常な気温上昇など自然災害が目立った年であったと思います。

今年は、何よりも穏やかな良い年でありますように願っております。

母校に大変功勞のあった池本学長は、任期満了にともない平成28年9月30日を以て退任され、学長候補者選出の結果、阿久澤良造乳学特任教授（大学22期畜産食品工学科卒）が学長候補者として選出され、学校法人理事会は、任期3年間の学長職を承認しました。

池本学長は、平成11年10月に学長就任後母校の危機状態から、同窓生が絶賛するような母校の整備充実に尽力されました。この17年間にわたる功績に対して、拙文をもって感謝の意を表すことができません。池本・阿久澤両学長は同窓生であります。池本先生に労いを、阿久澤先生には多難な大学運営を教職員一同と共に協力し、更なる発展に尽力されることを期待しております。同窓会も微力ながら支援したいと思ひます。

同窓会の念願でありました、同窓会会館の設立は、母校敷地内に建設を模索してまいりました。しかし、第一校舎内は、日本医科大学の

教養課程も同居する合同教育棟が竣工し、会館の設置場所の確保は難しいと判断しました。そこで、本館の一部貸与を学校法人にお願いして許可を頂きました。

改装工事などに母校の事務関係者の絶大な協力が得られ、とても素晴らしい同窓会室が完成しました。来訪同窓生が寛げる多用途の会議室と同窓会事務室を、11月5～6日の大学祭に同窓会ブースとして御披露目しました。同窓生皆さま来校の折には是非お立ち寄り下さい。

同窓会が移設した本館は、ワイルドライフミュージアム（博物館）の設置を目指し、展示物等の収集に取り組んでおります。大学の博物館設置の目的は、学芸員の資格取得に必要な施設ですが、百三十余年の歴史ある大学が漸く博物館・資料室を設置する気運になったということは喜ばしいことです。本館二階の廊下に、同窓生等からの寄贈絵画、動物の剥製や骨格標本が展示されています。旧講堂が博物館で、学内の教員が収集した顕微鏡、実験器具、書籍が展示されています。同窓生から本学に関連する骨董物等御寄付戴き、同窓生の手作りによる親しみある博物館になることを願っています。

尚、博物館設置には、梶ヶ谷博先生（大学獣医23期・現獣医保健看護学科教授）が館長として孤軍奮闘していますので、支援協力のほど宜しく御願ひ致します。

学生の祭典日獣祭は、昭和25年に始まり今年度は第66回を数える年でした。しかし、本年から大学祭に大変革が見られました。前述の医科大学の教養課程学生と同じキャンパスで過ごしていれば、必然的に協調といった事

象が起き、学祭を合同で行おうとの気運が起り、合同開催「日獣祭」となりました。

第一回「日獣祭」のメインテーマは一祭合祭、サブテーマは「はしゃぎな祭」でした。一祭合祭（一切合切からの造語）は先年までの個々の学園祭が一緒になり、新たな一歩である日獣祭が立ち上ったようです。医学部学生は一学年約百名だけです。やはり日獣色を強く感じました。初回で参加学生数の違いもあり、今年より来年と若い力の結集で本邦唯一の異色の大学祭に成長することを期待しています。

従前から、旧態依然の日獣医科大学の同窓会から、開設以来50年を経た動物科学科、食品科学科、10年を経過した獣医保健看護学科の4学科が共榮できる同窓会にしなければならぬと述べてきました。日獣医学科以外から学長が選出され、日本医科大学と母校の学生が武蔵境校地で共に学び、学祭も合同で行う状況にあります。時代の変遷と一言で言うには、我々の考え方も柔軟な思考が求められそうです。同窓会と大学が両輪に喩えられれば、母校の変遷に遅れず一歩前進しなければなりません。会則改正が全てではありませんが、組織の見直しも含め今年度は改革前進の年になるかと思ひます。改革を提案すると反対意見も出ますが、英知を絞って次世代に悔いを残さない改革元年を目標に執行部一同全力を挙げて取り組む所存です。是非、会員皆さまの御理解を賜りますよう御願ひ致します。

最後に、17年間の長きに亘り母校の発展に功績されました、池本卯典先生に感謝すると共に、御健勝と益々の御活躍を祈念致します。

平成二十八年度 日本獣医生命科学大学

同窓会代議員会開催報告

平成 28 年度代議員会が、平成 28 年 7 月 23 日（土）、日本獣医生命科学大学 E 棟 111 講義室に於いて午後 1 時 00 分より開催された。

代議員会に先立ち、同日午前 10 時 30 分から理事・監事会が開催され、議案書の確認等がなされた。

代議員会の出席者は、来賓 2 名、顧問 1 名、理事・監事 27 名、代議員 53 名、支部代表 11 名であった。

開会に先立ち、この一年間に逝去された会員へ黙祷が奉げられた。

1. 開会 吉田孝治事務局担当理事の司会により開会した。

2. 中條眞二郎会長挨拶（概略）

皆さんこんにちは。九州地方の方々へ御見舞いを申し上げます。

昨年度、獣医保健看護学科の 10 周年記念の祝典に協賛致しました。食品科学科は昭和 42 年に新設され、動物科学科は昭和 43 年に再開されてまもなく 50 周年です。

会則改正は全学科の卒業生へ平等に、女性会員の活躍が期待できるように、そして各学科の部会設立にも配慮したい。本日、会則改正案を提示し、皆さんに検討いただき来年の代議員会で承認を受けたい。

長年同窓会館建設を検討してきましたが、この大学敷地内に提供できる土地はありません。そこで、同窓会が本館の一部を使用できるように大学および理事長に御願いました。

同窓会で耐震シェルターを設置することで許可されました。現在工事中ですが、大学祭のときには同窓会ブースを設けて皆さんが雑談できる場が提供できると思います。

今年度は役員改正ですが、会則改正に向けて今までの事情を知る人が必要なので、役員をなるべく変えない方針で御願います。



3. 来賓挨拶（概略）

学校法人日本医科大学 赫彰郎理事長

皆さんこんにちは。日頃から本大学への支援あるいは指導、心から感謝を申し上げます。先の大地震で同窓の方々あるいは学生の実

家が倒壊した話を聞いております。心から御見舞いを申し上げます。

さて、この合同教育棟、2014 年に完成して、教育、研究の各部門がリニューアルできたと思っています。この合同教育棟で日本医科大学の一年間の教育を始めました。学生からのアンケートには両大学の視点で学ぶことができることが記されており、1 年間とはいえ一緒に勉強する場所にして本当によかったと感じています。また本年度から学園祭も両大学一緒に開催するという話も聞いております。

現在少子化が進んでおり、18 歳人口が急激に減少します。今、両大学で受験者が定員割れする学部はありません。しかし、2025 年位から受験者が激減しますので対応を考えています。それには、優秀な人材の育成が大学に求められ、常に教育改革が必要だと思っております。日本は労働力が減少し、優れた人材育成が重要になります。国が発表した第二期の教育振興の計画の中にも、社会を生き抜く力を持った学生、未来へ飛躍する日本、それを実現できる人材育成を謳っています。これには池本学長以下、常に教育改革し教育の内容、質の向上を語っておりますので、私も全幅の信頼を寄せて、見守っています。

それと、女性の医師、獣医師、研究員、教職者の支援センターを本大学にも設けました。国も 2030 年までに 30% の女性の教育の指導者を育成するとありますので、本学でも女性指導者の時代になると思います、ご支援の程よろしく御願致します。

この伝統ある日本獣医生命科学大学が、選ばれた大学になるよう今後とも我々は努力します。

て参りますので、皆様方の深いご支援の程を御願ひ申し上げます。



日本獣医生命科学大学 池本典典学長（概略）

皆さんこんにちは。この大学には 1700 人くらいの学生と日本医科大学医学部の学生 1200 人ほどいます。教員は、両方で約 150 人がおり、約 60 人の事務の方がこの大学を支えております。女子学生が非常に多くて 1000 人くらいですが、優等生の 9 割は女子学生という状況です。アイオワ大学でも 80% が女子学生だそうです、獣医の女子学生はどうも世界的な傾向なのかと思っています。

これからの学校法人日本医科大学の未来、それから日本獣医生命科学大学が栄えていくようご支援をいただければと思います。大学にいる限り、皆さんからのお話を是非聞きた



謝辞 熊本県代議員福岡周孝氏、岩下和治氏、大分県代議員塩手繁比古氏より地震災害の報告と御見舞い等に対して謝辞があった。



いと思います。どうぞよろしくご指導いただきしたいと思います。ありがとうございます。

- 4・議長選出** 代議員の中から立候補者を募ったが、立候補者がなく、午前中の理事・監事会で推薦された候補者、熊本県代議員福岡周孝氏と千葉県代議員早坂成郎氏を会長が提案、拍手で承認される。
- 5・書記および議事録署名人選出** 事務局側から書記に長谷川薫さん（日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科3年）、議事録署名人に大学支部代議員小山秀一氏、對馬宣道氏の提案があり、拍手で承認される。
- 6・議事**
- 第1号議案 平成27年度事業報告**
- 荻野勇総務担当理事より説明
- 平成27年度は、母校教育棟の記念事業に対して継続して協力を致しました。
- 永年の懸案でありました同窓会会館の設立は、母校敷地内に会館建設用地の借用が困難となりました。このため、学校法人と母校の御理解と御協力を得て、本館の一部を代替室として平成28年度内に移転の運びになります。今後、同窓生の来校の折りには、是非御立ち寄り頂き御利用下さい。
- 本年度は、獣医保健看護学科の創設10周年の御祝いを11月に大学と共催して吉祥寺東急インにて盛会裡に終えることができました。
- 同窓会会報47号は、母校の広報委員会の御好意で最新情報の大学広報誌と併せて、会員に御送付致しました。
- 同窓会会則改正は、応用生命科学部が創設以来半世紀を迎える現在、現状の会則では各学科への対応が難しくなることを踏まえ、10年来執行部や会則改正検討委員会を設けて検討して参りました。平成28年度の代議員会に会則改正案を提示致しますが、この28年度の

代議員会では決定せず、さらに広く御意見を求め、次年度の代議員会で改定するのが最良とのことが委員会で一致しました。

実施事業

- 1 平成27年度代議員会
平成27年7月25日（土）午後1時00分より、母校E棟1階第111講義室にて開催。出席者は来賓2名、顧問1名、理事35名、監事3名、代議員57名、（支部代表7名）の計105名。終了後懇親会を開催した。
- 2 役員会および各種委員会の開催
(1)常務理事会 5回開催
(2)業務・会計監査会
平成27年5月24日（日）
(3)理事・監事会 平成27年7月25日（土）
(4)会報編集会議 8回
(5)会則改正検討委員会
平成28年1月15日（金）
- 3 主な行事への参加
(1)平成27年度入学式
平成27年4月6日（月）
(2)大学祭ブース設置 平成27年10月31日（土）・11月1日（日）
(3)獣医保健看護学科創設10周年記念会
平成27年11月28日（土）
(4)母校教員との懇親会
平成28年1月22日（金）
(5)平成27年度学位記授与式
平成28年3月10日（木）
- 4 平成27年度支部会・連合会への派遣（18支部、2連合会）別表
会報47号発行 平成27年10月7日（10、500名へ送付）
- 5 会報48号発行 平成28年1月15日（10、300名へ送付）
- 6 大学への支援
第二回獣医生命科学会へ寄付 平成27年11月7日開催
梅野信吉賞受賞者に副賞を贈呈（受賞者・吉村久志助教 獣医保健看護学科）
平成28年3月10日
- 7 平成27年度母校退職者4名へ記念品贈呈
平成28年3月31日
田口文宏教授（獣医学科）
鷺巣月見教授（獣医学科）
阿久澤良造教授（食品科学科）
佐々木輝雄教授（食品科学科）
- 8 学生（準）会員への事業
(1)入学祝い スポーツタオルセット
(2)卒業記念 ペーパーウエイト
(3)同窓会長賞 各学科卒業生1名に賞状と記念品
獣医学科 赤羽根僚太
獣医保健看護学科 梅津萌子
食品科学科 大木真実
動物科学科 沼田歩美
(4)大学祭へ支援
(5)就職支援活動
- 9 日本獣医師会全国大会（秋田県）へ支援
第121回日本畜産学会へ支援
- 10 第121回日本畜産学会へ支援
- 11 畜友会へ支援
第1号議案についての質疑はなく、拍手で承認される。
- 第2号議案 平成27年度収支決算**
寺田厚経理担当理事より説明
平成27年度一般会計収支計算書 別表
平成27年度特別会計収支決算書 別表

正味財産増減計算書
貸借対照表総括表
財産目録 別表

財務諸表に対する注記

会費納入状況 平成28年3月31日現在
平成27年度連携病院収支計算書 別表

監査報告 宮崎監事、桑本監事より報告

去る5月14日、針谷、宮崎、桑本の3名が監査致しました。平成27年度同窓会業務並びに会計の収支決算を母校において厳正に監査した結果、証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成27年度監査報告書

平成27年度同窓会業務並びに会計の収支決算を平成28年5月14日母校において厳正に監査した結果、証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成 28年5月14日

監事 針谷光二
監事 宮崎勇吉
監事 桑本卓夫



第2号議案についての質疑

〔質問〕 広島県宮本榮作代議員より

1、一般会計収支決算書の支出の就職対策費の決算額が0円、また、記念建立整備費の決算額が0円になっている理由。

〔回答〕 寺田厚経理担当理事より、就職率が良いため、就職対策費は実際には使われない。記念建立整備費は130周年記念事業のために設置された項目であり、事業が9月に終了しているため、今年は記念建立整備費が必要なく決算額では0円になった。

2、一般会計収支決算書の決算額が予算より13%落ち込んでいる。きちんと会費が納入されているのか、また個々の会費納入状況を見られるようにしてほしい。

〔回答〕 寺田厚経理担当理事より、議案書に記載があるように、会費の納入口数は2、000口前後が例年である。連絡の取れない会員もいるのですべての会員の納入確認は難しい。

3、会報では同窓会の情報が示されているが、本会ホームページでは情報が更新されていない。同窓会をより賑わわせるために支部の情報を載せるのはどうか。

〔回答〕 吉田孝治事務局担当理事より、ホームページは必要に応じて更新している。支部の情報を電子メールで送ってもらえばホームページの支部のページに載せる。ホームページは月初めに更新しているのでその期間に間に合うように情報を頂けると良い。

〔質問〕 高知県公文陸代議員より

中條会長からの26日付の文書で、高知県は代議員選出の条件を満たしていないとの通達を受けたが、20名分の会費を納めている。代議員選出の条件を満たしていないというのはなぜなのか。

〔質問〕 富山県石原隆代議員より
議案書18頁の同窓会会則第10条に、会費納

入支部会員が20名以上50名未満のとき1名代議員を選出できると記載してある。富山県支部では21名が会費を納めているが、高知県と同様に代議員選出の条件を満たしていないという通達を受けた。事務局の集計ミスという可能性は考えられないか。

〔両者に回答〕 吉田孝治事務局担当理事より、事務局の集計上の手違いで、秋田県、富山県、福井県、高知県、東京北の各支部から一名を代議員として追加登録し、お詫びする旨の回答があった。

第2号議案は拍手で承認される

第3号議案 平成28年度事業計画

荻野勇総務理事より説明

平成28年度は、母校教育棟の継続事業に対して昨年度代議員会で承認を得られた母校への寄付を本年度中に実行致します。

本館一部を同窓会室として貸与契約を平成28年4月1日付けで締結し、平成28年度中に移転予定です。

応用生命科学部の食品科学科と動物科学科は、創設50年を迎えます。その祝賀会を母校と共催し、両学科同窓生と共に記念式典を実施致します。

同窓会会則改正は、獣医学科単科であった時代の会則を、四学科が共に成熟した時代に適応した会則に改正します。平成28年度の代議員会に案を提示し、承認は来年度の代議員会で諮ります。

母校付属動物医療センターとの連携病院について、平成26年から案内して参りました。

この提携は同窓生開業医の皆様、母校の高度医療等の提供も含め門戸を開放してくださいました。引き続き皆様の御利用のほど御願

い致します。

今年は、役員改正の年度です、本会発展のため役員選出に御協力をお願い致します。

実施事業予定

1、平成28年度代議員会 平成28年7月23日
(土) 午後1時00分より

母校E棟第 111講義室にて開催

2、母校創立130周年記念事業の寄付活動の継続推進

3、役員会および委員会等の開催

4、支部強化活動

(1)支部会への役員派遣

(2)その他

5、同窓会報49号、50号の発行

6、連携動物病院申請受付

7、大学への支援

(1)梅野信吉賞への協賛

(2)獣医生命科学会への寄付

8、食品科学科、動物科学科の設立50周年記念への協賛

9、日本獣医師会全国大会(石川県)へ支援

10、学生会員(準会員)への関連事業

(1)入学祝い

(2)卒業祝い

(3)同窓会褒賞者の表彰・記念品の贈呈

(4)大学祭への援助

(5)奨学生候補者の選考

(6)就職活動支援

11、その他

第4号議案 平成28年度収支予算

寺田厚経理担当理事より説明

1、平成28年度一般会計収支計算書 別表

2、平成28年度特別会計収支計算書 別表

3、平成28年度連携病院収支計算書 別表

第3号議案、4号議案についての質疑

〔質問〕 広島県代議員宮本榮作氏より

第3号議案において、4月に本館一部を同窓会室として貸与する契約を理事長と締結したとあるが、その契約内容について具体的に教えていただきたい。また、本館の修繕費等は同窓会側に負担はあるのか。将来的に同窓会側はどのように対応していくのか。

〔回答〕 中條眞二郎会長より

いつまでに移転するのは具体的には決めている。同窓生が本学に来たときに立ち寄れるような場所として、本館の一室を借りる契約を締結した。現段階では耐震工事等を含めた諸経費について大雑把に決めている。改修や耐震工事などは、建物が大学法人の所有であるため法人の経費で行うことになる。改修費用等は同窓会側から大学へ支援する。将来的に、理事長は本館を建て直したい方針だが、同窓生は現在の本館が懐かしと思うので、外観のみ残すという案も出ている。これらのことは同窓会側でも検討していく必要がある。いずれにせよ、今後は大学のへ支援、協力を我々が行うことになる。

〔質問〕 岐阜県代議員前田敬生氏より

1、本館の耐震化を行うということであるが、現段階ではどの程度の地震に耐えられるのか。耐震の状況を把握したい。

〔回答〕 吉田孝治事務局担当理事より

庶務課施設管理課によると、「本館は耐震強度の測定は構造的に無理である。」ということである。このため一部分ではあるが耐震工事を行う必要があり、鉄骨を立ち上げて四角いシェルターを作る方法になる。見積りは600万円ほどである。

2、同窓会館積立金は元来目的があって行くものである。本館の一室を借り、同窓会館を建設しないなら、その資金は取り崩して他に使うのだろうか。その使用内訳を教えてください。

〔回答〕 中條眞二郎会長より

同窓会館積立金は取りやめて同窓会運営のための基金とする。何かある場合に崩して同窓会の事業に使うことになるが、この基金を使うときには必ず代議員会で承認を取っている。基金という幅が広いが、収支予算案のうち、130周年関連事業費、同窓会室移転・改装費は同窓会館積立金取崩から捻出する。本館の一室を借りる契約があるため同窓会館は作らないことになるが、来年度同窓会収入8,000万円のうち同窓会館設立の資金の一部を学校側に寄付することを考えている。具体的な金額は現段階では決めていないが、3,000万円くらいは残るだろう。学友会や部室として使われているヴォーリス館の建て直しなど、大学のためにお金を使いたい。基金というのはそのためのもので、大学のために目に見える形でお金を使いたいと考えてのことである。

第4号議案は拍手で承認される。

第5号議案 役員改選

各推薦委員が各地区の理事名を推薦書に記載して議長に提出。

理事（敬称略）

北海道理事 永井正之（専攻）
東北理事 佐々木良悦（V10、宮城）
関東・甲州理事 吉田勝也（V16、茨城）、
早坂成郎（V17、千葉）、小暮一雄（V21、埼玉）、大沢正俊（V18、群馬）、篠崎隆（V

平成27年度支部総会等派遣一覧

日 時	支 部	派遣役員
平成27年 6 月21日（日）	千葉県支部	池本学長
平成27年 6 月27日（土）	東京多摩支部	中條会長
平成27年 7 月10日（金）	山梨県支部	新井教授
平成27年 8 月 1日（土）	大阪支部	中條会長
平成27年 8 月 2日（日）	宮城県支部	中條会長
平成27年 8 月22日（土）	九州地区総会	寺田常務理事
平成27年 8 月22日（土）	茨城県支部	中條会長
平成27年 9 月 5日（土）	新潟県支部	盆子原教授
平成27年 9 月 5日（土）	四国連合総会	中條会長
平成27年10月18日（日）	群馬県支部	中條会長
平成27年10月31日（土）	長崎県支部	中條会長
平成27年11月 8日（日）	静岡県支部	鈴木顧問
平成27年11月15日（日）	佐賀県支部	中條会長
平成27年11月21日（土）	長野県支部	對馬准教授
平成27年11月28日（土）	石川県支部	池教授
平成27年11月28日（土）	栃木県支部	中條会長
平成27年12月 6日（日）	広島県支部	寺田常務理事
平成27年12月 6日（日）	福島県支部	中條会長
平成28年 3 月 5日（土）	福岡県支部	河上教授
平成28年 3 月12日（土）	京都支部	中條会長

26、神奈川、渡辺富好（V21、山梨）

欠員一名

東京理事 天野三幸（V23）、野田宗兵（V9）、萩野勇（V13）、寺田厚（V13）、中條眞二郎（V12）、吉田孝治（V16）、新井敏郎（V29）、對馬宣道（Z25）、小山秀一（V28）
東海・信越理事 前田敬生（V25、岐阜）、青木和男（V13、長野）
北陸理事 山田稔（V18、富山）
近畿理事 佐藤正勝（V16、大阪）
中国理事 高田三千人（V16、広島）
四国理事 小川清之（V17、高知）
九州・沖縄理事 中村完治（V14、福岡）
動物科学科理事 西谷次郎（Z20）、小磯孝（Z28）、鈴木直幸（Z31）
食品科学科理事 山内直文（F19）、藤田満（F20）、阿久沢良造（F22）
会長推薦理事 作佐部隆（V10）、湯本典夫（V19）、藤原伸作（Z20）
監事 桑本卓夫（V13）、針谷光二（V9）、





石崎孝久 (V23)
顧問 鈴木昭 (専6)、斉藤茂芳 (専7)
第5号議案は拍手で承認される
議長団の終了宣言後、吉田事務局理事の閉会
宣言により閉会となった。
針谷氏を関東・甲州理事に推薦したが針谷
氏は監事であるため、栃木県理事は欠員とな
ったが、後日栃木県代議員の佐々木卓也氏
(V28) が任命された。
また、針谷光二氏は平成28年7月25日に逝
去された。このため、後任の監事に水谷渉氏
(V15) が就任した。



代議員会終了後、母校近くの「久松」にて懇
親会が開催された。多数の代議員の方々が参
加され、短い時間ではありましたが、和気
藹々と話が弾んでいました。

訃報 針谷光二監事が急逝

針谷光二氏 (獣医大9期) は、平成28年7
月25日にご逝去されました。栃木県支部長お
よび本部役員としても平成7年度から21年間
の長年にわたり尽力されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

平成28年度 新役員が決定

平成28年度代議員会で選出された理事から、
各担当理事が任命された。

- 会長
中條眞二郎 (V12)
副会長
佐佐部隆 (V10)
山内直文 (F19)
小磯孝氏 (Z28)
事務局長
吉田孝治 (V16)
経理担当理事
寺田厚 (V13)
総務担当理事
荻野勇 (V13)
支部強化担当理事
小暮一雄 (V21)
藤原伸作 (Z27)
学術編集担当理事
湯本典夫 (V19)
對馬典道 (Z25)
学生担当理事
清水一政 (V17)
小山秀一 (V28)



同窓生のアイオワ大学

上村教授が来校

大学13期 寺田 厚

大学13期生の上村悦郎氏は、現在アイオワ
大学解剖学教室教授として席を置かれていま
す。平成28年7月15日に奥様とお二人のお嬢
様を伴って、池本前学長を訪問されました。
その時に、上村氏と同期の青山、荻野、斉
藤、塩見および寺田の5名が武蔵野の本学に
てお会いし旧交を温めました。次に帰国され
る時には早期に連絡をいただければ、上村氏
の帰国に合わせて同期会を開催したい。

←前列右お2人が上村ご夫妻、前列左と二列目
右がお嬢様。



第 2 号議案 平成27年度収支決算
平成27年度一般会計収支計算書

平成27年 4 月 1 日から平成28年 3 月31日まで

収入の部 (単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
1 同窓会費収入	7,050,000	6,078,000	972,000	本年 1,675 口、過年 349 口、 H28 年 2 口
2 入 会 金 収 入	19,500,000	19,150,000	350,000	50,000 円× 383 名
3 諸 収 入	67,630	136,844	△ 69,214	
受 取 利 息	17,630	19,956	△ 2,326	普通預金利息 2,354 円、特別会 計利息 17,602 円
寄 付 金	40,000	110,000	△ 70,000	
雑 収 入	10,000	6,888	3,112	
当期収入合計 (A)	26,617,630	25,364,844	1,252,786	
前 期 繰 越 金	6,271,149	6,271,149	0	
収 入 合 計 (B)	32,888,779	31,635,993	1,252,786	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
1 事業費	11,650,000	9,881,217	1,768,783	
会報発行費	3,300,000	3,467,472	△ 167,472	会報 47・48 号印刷 232 万円、 大学報 55 号 54 万円、発送 60 万円
事業推進費	1,200,000	1,485,535	△ 285,535	第 121 回畜産学会 100 万円、 保健看護学科 10 周年 20 万円 畜友会 20 万円、日獣祭 プス開 設等
支部助成費	700,000	726,500	△ 26,500	38 支部 1,755 口 52.6 万円、獣 医師会秋田年次大会 20 万円
学生会員援助費	3,800,000	3,037,012	762,988	入学祝品 77 万円、同窓会会長 賞 9.7 万円、卒業祝品 147 万 円、大学祭 70 万円
学術振興費	900,000	600,000	300,000	獣医生命科学学会賞 30 万円、梅 野信吉賞 30 万円
就職対策費	200,000	0	200,000	
渉外費	300,000	212,098	87,902	母校教職員との交流
慶弔費	250,000	352,600	△ 102,600	本学教職員祝品、弔事 4 件、護 国寺 2 年分 10 万円等
東日本災害 支援金	0	0	0	岩手、宮城、福島など
記念建立整備費	1,000,000	0	1,000,000	
2 会議費	4,000,000	3,371,081	628,919	
代議員会議費	3,300,000	2,624,691	675,309	代議員 105 名分旅費等
役員会議費	700,000	746,390	△ 46,390	役員旅費等
3 事務費	6,900,000	4,452,383	2,447,617	
事務手当	3,000,000	2,472,673	527,327	事務手当、アルバイト料、通勤 費等
旅費	1,400,000	836,680	563,320	20 支部派遣
印刷費	200,000	128,381	71,619	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	300,000	162,895	137,105	郵便料、電話代等
振替・振込 手数料費	100,000	66,364	33,636	郵便振替、銀行振込
器具備品費	200,000	73,850	126,150	事務機器など
ホームページ 管理運営費	1,500,000	572,400	927,600	HP 年間管理費など
消耗品費	100,000	68,706	31,294	事務用品類等
雑費	100,000	70,434	29,566	残高証明等
4 特別会計繰入金	9,790,779	9,790,779	0	
名簿発行引当金	2,500,000	2,500,000	0	
同窓会館積立引 当金	7,000,000	7,000,000	0	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
減価償却引当金	280,779	280,779	0	
6 予備費	548,000	0	548,000	
当期支出合計 (C)	32,888,779	27,495,460	5,393,319	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 6,271,149	△ 2,130,616	△ 4,140,533	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	4,140,533	△ 4,140,533	

平成27年度特別会計収支計算書

平成27年 4 月 1 日から平成28年 3 月31日

(収入の部) (単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
1. 繰入金収入	9,790,779	9,790,779	0	
2. 雑 収 入	15,630	17,602	△ 1,972	利息 17,602 円は一般会計へ
当期収入合計 (A)	9,806,409	9,808,381	△ 1,972	
前期繰越額	94,248,128	94,248,128	0	
収 入 合 計 (B)	104,054,537	104,056,509	△ 1,972	

(積立金別の収入明細) (単位：円)				
科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	減価償却
1. 繰入金収入	2,500,000	7,000,000	10,000	280,779
2. 雑 収 入	123	16,312	1,167	0
当期収入合計 (A)	2,500,123	7,016,312	11,167	280,779
前期繰越額	10,000	82,091,313	7,108,956	5,037,859
収 入 合 計 (B)	2,510,123	89,107,625	7,120,123	5,318,638

(支出の部) (単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
1. 繰入金取崩	0	0	0	
2. その他支出	15,630	17,602	△ 1,972	
当期支出合計 (C)	15,630	17,602	△ 1,972	
当期収支差額 (A)-(C)	9,790,779	9,790,779	0	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	104,038,907	104,038,907	0	

(積立金別の支出明細) (単位：円)				
科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	減価償却
1. 繰入金取崩	0	0	0	0
2. その他支出	123	16,312	1,167	0
当期支出合計 (C)	123	16,312	1,167	0
当期収支差額 (A)-(C)	2,500,000	7,000,000	10,000	280,779
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,510,000	89,091,313	7,118,956	5,318,638

財 産 目 録
平成28年 3 月31日

科 目		金 額		
Ⅰ. 資産の部				
1. 流動資産				
(1) 現 金	50,000			
(2) 普 通 預 金	55,473,408			
①三菱東京 UFJ 銀行	3,805,889			
②三菱東京 UFJ 銀行	2,510,000			
③三菱東京 UFJ 銀行	7,118,956			
④三菱東京 UFJ 銀行	42,038,563			
(3) 定 期 預 金	50,446,075			
①三菱東京 UFJ 銀行	50,446,075			
(4) 郵 便 振 替	2,427,921			
(5) 未 収 金	0			
流動資産合計		108,397,404		
2. 固定資産				
(1) 土 地 建 物	0			
(2) その他の固定資産 (什器備品及びパソコンなど)	1,048,135			
固定資産合計		1,048,135		
資 産 合 計			109,445,539	
Ⅱ. 負債の部				
1. 流動負債				
(1) 未 払 金	0			
(2) 前 受 金	0			
流動負債合計		0		
2. 固定負債				
(1) 名簿発行引当金	2,510,000			
(2) 同窓会館引当金	89,091,313			
(3) 奨学基金引当金	7,118,956			
(4) 減価償却引当金	5,318,638			
固定負債合計		104,038,907		
負債合計			104,038,907	
正 味 財 産				5,406,632

第 4 号議案 平成28年度収支予算
平成28年度一般会計収支計算書

平成28年 4 月 1 日から平成29年 3 月31日まで

収入の部				
(単位：円)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 同 窓 会 費 収 入	7,050,000	7,050,000	0	本年度 2100 口、過年度 250 口
2 入 会 金 収 入	19,350,000	19,500,000	△ 150,000	50,000 円× 387 名
3 諸 収 入	42,106,193	67,630	42,038,563	
受 取 利 息	17,630	17,630	0	
寄 付 金	40,000	40,000	0	
同窓会館積立金取崩	42,038,563	0	42,038,563	
雑 収 入	10,000	10,000	0	
当期収入合計 (A)	68,506,193	26,617,630	41,888,563	
前期繰越金	4,140,533	6,271,149	△ 2,130,616	
収入合計 (B)	72,646,726	32,888,779	39,757,947	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 事 業 費	46,350,000	11,650,000	34,700,000	
会 報 発 行 費	3,000,000	3,300,000	△ 300,000	会報印刷、同窓会ニュース、発送等
事 業 推 進 費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	各学科への援助
支 部 助 成 費	800,000	700,000	100,000	45 支部分
学生会員援助費	3,800,000	3,800,000	0	入学祝品 150 万円、卒業祝品 150 万円、大学祭 70 万円、会長賞 10 万円
学 術 振 興 費	1,000,000	900,000	100,000	獣医生命科学会 30 万円、梅野費 30 万円、博物館支援等
就 職 対 策 費	200,000	200,000	0	学生会員就職対策
渉 外 費	300,000	300,000	0	法人母校等との折衝費
慶 弔 費	250,000	250,000	0	本学教職員祝品、弔事、護国寺等
動物・食品創立 50 周年記念	3,000,000	0	3,000,000	
熊 本 ・ 大 分 災 害 支 援 金	3,000,000	0	3,000,000	熊本、大分等
130 周年関連事業費	30,000,000	1,000,000	29,000,000	大学への寄付 30,000,000 円
2 会 議 費	4,000,000	4,000,000	0	
代議員会議費	3,300,000	3,300,000	0	代議員旅費等
役員会議費	700,000	700,000	0	役員旅費等
3 事 務 費	13,200,000	6,900,000	6,300,000	
事 務 手 当	3,000,000	3,000,000	0	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅 費	1,200,000	1,400,000	△ 200,000	支部派遣
印 刷 費	200,000	200,000	0	封筒、コピー代、振替用紙等
通 信 費	200,000	300,000	△ 100,000	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	100,000	0	郵便振替、銀行振込等
器具備品費	600,000	200,000	400,000	事務機器等
ホームページ管理運営費	700,000	1,500,000	△ 800,000	ホームページ管理料等
同窓会室移転・改装費	7,000,000	0	7,000,000	
消 耗 品 費	100,000	100,000	0	事務用品類等
雑 費	100,000	100,000	0	残高証明等
4 特別会計繰入金	8,711,128	9,790,779	△ 1,079,651	
名簿発行引当金	2,500,000	2,500,000	0	
同窓会館積立引当金	6,000,000	7,000,000	△ 1,000,000	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
減価償却引当金	201,128	280,779	△ 79,651	
5 予 備 費	385,598	548,000	△ 162,402	
当期支出合計 (C)	72,646,726	32,888,779	39,757,947	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 4,140,533	△ 6,271,149	2,130,616	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0	0	

平成27年度連携病院収支計算書

平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日

(収入の部)				
(単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
本 年 度 納 入 金	30,000	0	30,000	
利 息	10	36	△ 26	
雑 収 入				
合 計	30,010	36	29,974	

(支出の部)				
(単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
事務費	0	0	0	
事務手当				
通信費				
雑費				
事業費	0	0	0	
広報費				
予備費	0	0		
合 計	0	0	0	
差引繰越予定	30,010		29,974	

平成28年度連携病院収支計算書

平成28年 4 月 1 日～平成29年 3 月31日

(収入の部)				
(単位：円)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘要
前年度繰越金	99,036	99,036	0	
本年度納入金	15,000	0	15,000	3,000 円 x5 名
利 息	10	0	10	
雑 収 入				
合 計	114,046	99,036	15,010	

(支出の部)				
(単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
事務費	0	0	0	
事務手当				
通信費				
雑費				
事業費	0	0	0	
広報費				
予備費	0	0		
合 計	0	0	0	

平成28年度特別会計収支計算書

平成28年 4 月 1 日から平成29年 3 月31日まで

(収入の部)				
(単位：円)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰入金収入	8,711,128	9,790,779	△ 1,079,651	
2. 雑 収 入	8,380	15,630	△ 7,250	
当期収入合計 (A)	8,719,508	9,806,409	△ 1,086,901	
前期繰越額	104,038,907	94,248,128	9,790,779	
収入合計 (B)	112,758,415	104,054,537	8,703,878	

(積立金別の収入明細)				
(単位：円)				
科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	減価償却
1. 繰入金収入	2,500,000	6,000,000	10,000	201,128
2. 雑 収 入	20	8,300	60	0
当期収入合計 (A)	2,500,020	6,008,300	10,060	201,128
前期繰越額	2,510,000	89,091,313	7,118,956	5,318,638
収入合計 (B)	5,010,020	95,099,613	7,129,016	5,519,766

(支出の部)				
(単位：円)				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰入金取崩	42,038,563	0	42,038,563	
2. その他支出	8,380	15,630	△ 7,250	
当期支出合計 (C)	42,046,943	15,630	42,031,313	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 33,327,435	9,790,779	△ 43,118,214	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	70,711,472	104,038,907	△ 33,327,435	

(積立金別の支出明細)				
(単位：円)				
科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	減価償却
1. 繰入金取崩	0	42,038,563	0	0
2. その他支出	20	8,300	60	0
当期支出合計 (C)	20	42,046,863	60	0
当期収支差額 (A)-(C)	2,500,000	△ 36,038,563	10,000	201,128
次期繰越収支差額 (B)-(C)	5,010,000	53,052,750	7,128,956	5,519,766

事務局だより

同窓会本部への連絡

事務員は平日の午前10時から午後4時まで勤務しています。連絡は本会報一面記載の電話、ファクシミリ、電子メール、郵便等にて受け付けます。届出、各種依頼等は発信人が確認できる方法で御願います。

住所変更は速やかに届出を

市町村合併等による郵便番号、住所表示が変更された会員の送付物が多数返却されてきます。また、転出後届出が無いと、後に入居された方に御迷惑をかける事例が多くあります。住所変更は速やかに御願います。変更届用紙は同窓会ホームページから印刷できます。



同窓会室が移転しました

同窓会室が平成28年10月下旬に完成し、平成28年11月4日に移転が完了しました。場所は本館（御馴染みの赤い尖がり屋根の建物）の一階の二部屋です。昔の建物の趣を生かし改装し、昔に比べ大変広くなりました。皆様が立ち寄られても寛げる場所も確保できました。来校の際にはどうぞ御立ち寄り下さい。隣の部屋は会議室として使用出来るよう机を配置し、大学祭や常務理事会等に重宝しています。

なお、引越し期間中は事務局の外線電話・ファックスが使用できなくなりご迷惑をおかけしました事をお詫び致します。



会報へ投稿のお願い

支部会、同期会、研究室OB会、クラブOB会等の開催報告（200～400字）と写真（JPEG）を添付してメールにて本部事務局まで御送りください。到着順、初投稿を優先して掲載します。スペースの関係で編集させて頂く場合があります。御了承ください。

支部総会への派遣依頼について

本部からの支部会への派遣は原則一名で、人選は依頼された順に事務局で調整しています。支部から派遣希望者への直接交渉はトラブルの原因となり、旅費等が支給できない場合がありますので御注意ください。

母校展示館への寄贈を御願います

母校の博物館は開館して間もないですが、大学祭期間中は学外の見学者が多数来館し興味深く見学しておりました。母校の歴史（目黒時代の教科書、卒業証書、獣医師免許証など）、獣医学、畜産学、食品化学の資料、器具類などに関連した物を御持ちで、博物館に提供して頂ける方のご協力を御願います。

同窓会会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費納入によって運営されています。本会報に「振込取扱票」が同封されている方は、年会費（三千円）をお振込みください。振込票が同封されていない方は所属支部の指示にて納入してください。振込票にはお忘れなく住所氏名を記載し、通信欄に卒業学科・期（本送付封筒の住所ラベルの区分記号）を記載してください。住所変更



の方は変更ありに○印を御願います。

年会費一括納入支部へお願い

本部会費を一括納入される支部は、納入者名簿を事務局へ御送りください。氏名・区分の記入をお忘れなく御願います。

母校付属動物病院との連携動物病院の申請

手続き窓口は同窓会本部事務局となっています。詳細については同窓会ホームページをご覧ください。

次に該当する会員は事務局までご連絡ください

国会議員、市長村長、市議会等へ選出、再選された方。他大学で博士号を授与された方。逝去された会員等。

岩手県支部総会開催

岩手県支部事務局 吉川 健

日本獣医生命科学大学同窓会岩手県支部では、平成28年8月27日に盛岡市繫「清温荘」に於いて28年度の支部総会を開催しました。参加者は少なく9名でしたが今後の同窓会の在り方、組織の在り方、獣医師会員以外の会員の把握について検討しました。



日本獣医生命科学大学同窓会岩手県支部総会 28・8・27(日)開催

大学九期生同期会

十和田湖畔で開催

藤田 毅彦

昨年、卒業後55年目を迎えた九期生の24名(同伴者5名)は、10月13から14日の2日間、三内丸山縄文遺跡見学、奥入瀬溪流、十和田湖遊覧など秋のみのくの旅を楽しんだ。

一日目の昼、新青森駅に集合し、大型バスにて縄文遺跡を見学、「十万年前の人間の歴史の凄さ実感した」とY氏の感想である。埴輪などの土器を見られなかったのは残念であったが、近いうち展示されるという事である。いよいよ私達は十和田湖へ向かう。約2時間30分バスに揺られ、奥入瀬溪流に着いた。曇り空であった天候は回復し、色付き始めた紅葉とせせらぎが織りなす自然に癒され、一同満喫した。

30分後バスは今宵の宿「十和田湖畔ホテル」へ到着。暫しの疲れを出湯に浸りリフレッシュした後、近況報告と宴会がスタート、一年あるいは数年ぶりの再会で、暫しの間心尽くしのホテルの料理を肴に、イケメン達はアルコールに、美女達はオシヤベリに酔いしれた。

二日目の早朝、十和田湖畔遊覧船発着所で記念撮影、豊かな自然と澄み切った空気に包まれ、一同最高のモデルであった。その後、まだ淡い色の紅葉を眺めながら、透明な湖上の50分の十和田湖遊覧はあつという間に終了した。

旅の名残を背に、バスは新青森駅近くの食事処に到着、お別れのささやかな美味しいラ

ンチ後、来秋は熱海での再会を誓い帰路に着いた。

初めての幹事の経験重責だったが、時おり励ましとご協力頂き心より感謝する次第である。楽しく感激の旅だった由、うれしい限りである。



日本獣医畜産大学 第9期同期会
十和田湖の思い出

第3回 獣医生命科学会

獣医生命科学会 事務局 新井敏郎・川角浩

昨年11月13日(日)に本学内で開催を予定していた第3回獣医生命科学会は、会長交代に伴う役員体制の変更、事務局組織および運営組織の再編などを行わなければならず、時間的余裕もないため、今年6月以降に延期することになりました。

次回(第4回)以降は下記のような新たなコンセプトでの学会運営を予定しております。尚、会誌「獣医生命科学」2巻2号は予定通り11月に発行するよう準備しております。

平成29年度以降の獣医生命科学会の体制
・新会長(日本獣医生命科学大学学長)の下、新たな理事会、評議員会を組織する
・学会運営円滑化のため生命科学総合研究センター内に常設の事務局を置く
・会の活動は、総会・シンポジウムの開催(6月)、会誌の発行(年2回)、定年教員の講演会(3月)を3本柱の事業として定例化する

・年次大会開催時に獣医学部、応用生命科学部から1名ずつ開催責任者を選出し、大会長・実行委員長として総会・シンポジウムを運営する体制に変更する
・会誌「獣医生命科学」をピアレビュー誌(将来的にインパクトファクターが取得できるよう)にするため編集委員会を設置する

・総会(年次大会)を6月開催(年度末から3か月以内)に定例化する



母校近況

教員人事

庶務課

一、教員人事（平成28年7月21から平成28年11月22日まで）

○選任（平成28年10月1日付）

学長

阿久澤 良造

○名誉学長の称号授与（平成28年10月1日付）

前日本獣医生命科学大学 学長

池本 卯典

○昇任（平成28年10月1日付）

准教授

松本 浩毅（臨床獣医学部門治療学分野Ⅰ）

○退職（平成28年10月31日付）

講師

入交 眞巳（臨床獣医学部門治療学分野Ⅰ）

○任期満了（平成28年9月30日付）

学長

池本 卯典

○解く（平成28年9月30日付）

特任教授

阿久澤 良造（応用生命科学部）



一衣帯水

日本獣医生命科学大学

名誉学長 池本 卯典

同窓会員の皆様、明けましておめでとうございませう。全国各地で元気に新年をお迎えのことと拝察致します。旧年中は大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。本年もご指導の程何卒よろしくお願い致します。飛花落葉の喻え通り、昨年9月30日任期と人気共に終え、8期17年間の職務を全うさせて頂きました、改めてお礼申し上げます。

《夢はイノベーションの母》異端の発明者、企業家として高名なソニー初代社長井深大氏の箴言と側聞し、その真似はできないものかと、平成11年10月から紡ぎ続けた一冊は淡き夢として頁を閉じ、昨年10月1日に新書版の扉が開かれました。新学長にも旧倍のご支援をお願いする次第です。

懐古談になりますが、日本獣医生命科学大学は、かつて《二大柱及び一法人一大学・本学の完全独立》を切望し、その要望書を本学の経営母体である学校法人日本医科大学に提出した過去があります。その背景には福岡市に本拠を置く巨大な大学コンツェルン都築総合学園による、本学の経営法人移譲計画及び独立法人化計画でした。

創設135年の歴史と伝統を持つ本学二度目の大改革、当事者として対応された先代紺野学長は苦渋の選択であり、まさに大冒険への挑戦だったといえましょう。一方、反対派の抵抗運動も活発で国会議員を巻き込み、当

時の文部省へのストーム等激烈を極めたようです。都築学園は入試妨害等を理由に大学の移譲、独立支援の解約を学校法人日本医科大学側に通達。これを受け平成10年3月24日法人理事会、評議会の審議を経て都築総合学園移譲案は白紙還元になったと記録されています。

平成11年10月1日、紺野前学長の後任に指名されて学長に就任。本学卒業生とはいえ外様、遊軍は大学一期生で、JRA専務理事を歴任された佐藤雄三日本医科大学理事だけでした。お互いに強心臓か鉄面皮か、特に違和感なく法人に支えられながら時は流れました。略一年が過ぎた医大理事会で、大塚理事長の突飛とも思える発言がありました。それは、《獣医大に二大柱・独立論が燃る限り、大きな支援は難しい》でした。都築問題は消滅の過去と信じていた私に、負の遺産整理が下命されたのです。そこで、当時の長田事務部長と直ちに対応に着手し、平成12年10月の日獣大教授会に諮り、以下の分離独立及び二大柱論の撤回文書を同年10月30日付けで、大塚敏文理事長に直接手渡し了解を得て安堵しました。

《謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より日本獣医畜産大学の運営につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。平成12年10月12日の教授会において、日本獣医畜産大学は、従来主張していた二大柱論を白紙とし、学校法人日本医科大学の経営方針に従い、大学の健全な発展と充実した教育の実践に邁進することを全員の総意により確認いたしました。今後とも何卒よろしくお願い致します。敬具。》宛先は、学校法人日本医科大学 理事長大塚敏

文殿、差出人は日本獣医畜産大学 学長池本卯典 日付平成12年10月30日。それから、多少の大学改善に曙光が差し始め今日に至りました。

一衣帯水とは、一本の帯のように狭い川や海峡。ある場所では狭く、他の場所は広く、川や海に隔てられていても、ふたつの距離は極めて近いことを意味し、中国隋の文帝が、隣国陳の悪政から民を救った時の名句だそうです。

ご承知のように、獣医学教育における臨床教育は格段に進歩しました。しかし、対応する診療施設が不足する本学は、動物医療施設の充実が急務でした。早速法人へ申請し許可を得て建設に着手し、竣工は平成15年6月15日、当時は東洋一と自負できる近代動物医療センターの完成を見ました。

以来、本学関係者は周知の事実で説明するまでもなく、日本医科大学と日本獣医生命科学大学は、まさに一衣帯水。本学が設置する二学部四学科に加えて、昨年より医学部基礎科学課程も同棟で教育、名実共に滞水教育へと進化した今日であります。

末辞になりましたが、同窓生諸兄のご健康を心からお祈りいたします。



平成 28 年度 動物慰霊祭 挙行について

事務局庶務課

平成 28 年 11 月 2 日（水）正午から、第一校舎中庭の「仁畜之碑」前にて、平成 28 年度動物慰霊祭が、無宗教献花方式にて、しめやかに執り行われた。

参列者全員による黙祷が行われた後、阿久澤学長から、「本日あらためて実験動物の役割とその貢献を認識し、犠牲となった多くの動物達に心から感謝の意を捧げたい」との追悼のことが述べられた。

続いて、学生を代表して佐藤菜実子学友会



会長から、「私達は動物と接するに当たり常に学生として学ぶ目的を明確に持ち、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れず、善良な獣医師・動物看護師・生命科学者として育つことで動物の慰霊と報恩にかえさせていただきま

す」との哀悼の意が述べられた。

最後に、阿久澤学長、新井大学院獣医生命科学研究科長、河上獣医学部長、天尾応用生命科学部長、藤田動物医療センター院長、吉村牧場長、袴田生命科学共同研究施設長、横須賀動物実験委員会委員長、佐藤学友会会長の指名献花、教職員・学生等の参列者による献花が行われ、教育・研究のために犠牲となつた多くの尊い動物達の冥福を祈った。

平成 28 年度 体育祭が開催される

学生支援センター

平成 28 年 10 月 19 日（水）武蔵野陸上競技場において、平成 28 年度体育祭が開催された。

気温も上がり、絶好の体育祭日和の中、クラブやサークル、研究室を中心とした約 500 名の学生がチームに分かれて競い合った。恒例の綱引きや騎馬戦、障害物競争、玉入れ等、体育祭実行委員会がアレンジを加えた各種競技が行われた。

フィナーレのリレー決勝では熱い戦いが繰り広げられ、大歓声の中、親交をさらに深めた一日となった。



平成28年11月4日(金)～11月6日(日)に本学において、第1回医獣祭が開催された。本年度は日本医科大学と初の合同開催とし、テーマは「一祭合祭(はしやぎな祭)」。長きに渡る「日獣祭」そして「日医祭」「丸子祭」(日本医科大学大学祭)によって受け継がれてきた両校の良き伝統、アカデミックな特色を丸ごとすべて活かし、これまで以上に楽しんでいただけるようにという意味を込めている。

平成28年 第一回医獣祭

学生支援センター



1日目は平日ということもあり753人、2日目には2,626人、3日目には4,03人、合計7,682人と昨年を705人上回る来場者となった。
音楽系団体の合唱や演奏、体育系団体の演武やパフォーマンス、研究室やクラブ・サークルの展示発表、動物と触れ合えるミニミニ牧場や恒例のペットショー、日本医科大学企画の救急救命体験や面白いライブ等、大いに盛り上がり3日間が終了した。

入試種別	学部	学科	試験日	試験会場	選抜方法等	Web 出願期間
一般(第1回)	獣医学部	獣医学科	2月5日(日) ※1月14日(土)・1月15日(日)のセンター試験を必ず受験してください	本学 大阪福岡	センター試験英語(筆記)必須 センター試験数学(数Ⅰ・A、数Ⅱ・B)必須 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) 物理(物理基礎・物理) から1科目選択	1月4日(水)～ 1月13日(金)
		獣医保健看護学科			英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ)必須 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) から1科目選択	1月4日(水)～ 1月24日(火)
	応用生命科学部	動物科学科	2月6日(月)	本学 大阪仙台南福岡	英語(コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ)必須 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) から1科目選択	
		食品科学科			英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ) 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) から2科目選択	
一般(第2回)	獣医学部	獣医学科	3月15日(水)	本学	英語(コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ)必須 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 必須 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) 物理(物理基礎・物理) から1科目選択	2月13日(月)～ 3月3日(金)
		獣医保健看護学科			英語(コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ)必須 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) から1科目選択	
	応用生命科学部	動物科学科			英語(コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ)必須 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) から1科目選択	
		食品科学科			英語(コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ) 数学(数学Ⅰ・Ⅱ・A・B) 生物(生物基礎・生物) 化学(化学基礎・化学) から2科目選択	

平成29年度 日本獣医生命科学大学入学試験の抜粋案内

教務・学生課

平成29年度日本獣医生命科学大学入学試験の今後の日程をご案内します。出願期日の間近な試験日もあります。詳細については教務・学生課入試係(電話…0422-314151(代))まで問い合わせてください。

新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学

学長 阿久澤 良 造



新年おめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も何卒よろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

平成28年10月より日本獣医生命科学大学長として就任いたし、この重責を担うことに日々身が引き締まる思いであります。

私は、1974年に本学畜産食品工学科を卒業後、乳業会社に就職、カリフォルニア大学（デビス校）大学院食品科学専攻への留学（中退）を経て、1981年本学乳学教室助手として入職し、本学教員として35年間お世話になりました。乳学教室の前身は、獣医学科の畜産物利用学教室（大條方義名誉教授）であったことから、獣医学科、動物科学科（旧経営畜産学科）の畜産物利用学の講義と実習を現在に至るまで担当しております。

この35年間を思い起こしますと大学は、大きく変化し、充実と成長の繰り返しを積み重ねて参りました。当然のごとく変化を遂げてき

たように思えますが、そこには多くの教職員の努力と卒業生の社会での活躍があつてこそのであることを常に肝に銘じておかねばならないと思っております。

日本獣医生命科学大学は、教育理念として「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者を育成」、学是として「敬謙相和」を掲げ135年という歴史と伝統を有し、多くの人材を輩出し続けています。また、長年の課題であつた大学のインフラ整備が池本前学長のもとに進められ、ほぼ完成し、充実した環境が整いつつあります。高度専門職教育、研究、教養教育、健全な学生生活による徳を有するバランスのとれた人材育成を意識し、個性豊かな大学として発展向上のために尽力してまいります。

本学は、学生を均一化せず、個性を生かし伸ばす大学としてその特色を打ち出しております。これは本学の存在意義を示す重要なことであり、今後も誇りをもつて広くアピールしていきたいと考えております。大学は学生が主役であり、学びの中から未知を予測する面白さ、可能性に気付く、目的に向かう過程で得られる達成感を教員と共有でき、双方向での切磋琢磨出来るという環境にあります。

学生が自分で考え、状況に応じて判断し、決するプロセスを導き出す力を養うことが大学での学問の土台であり、課せられた義務であると言えます。これをなくしては何も生まれず、短、長期スパンで視点を定めての教育を継続することが使命であると考えております。

今後の具体的方策としては、高等教育の質の保証が国際的にも問われています。各学部学科ともにその専門性が国際的にも通用する

教育であるようにさらなる充実を図らなければなりません。今、大学では、教育の質的向上を目的とした三つ（アドミSSION、カリキュラム、ディプロマ）のポリシーが制定されております。本学においては、見直しを行っており、特にディプロマ・ポリシーと各科目の関係性や科目間の体系的性を、より明確に共有し、その基盤となる科目が十分機能しているかなどを確認しつつ確実な積み上げを進めたいと考えております。また、卒業生の社会での活躍は教育評価の一つの指標になりうることから卒業生調査等を行い、活用できるようにその活躍状況をデータ化できればと考えております。皆さんの益々のご活躍と調査へのご協力をお願い致します。

研究では、外部からの競争的資金が大学運営の基盤に不可欠であることから、申請への条件、支援体制の整備を進め、同分野との連携はもとより、多様な展開が期待できる異分野の産学官による連携は、新たな展開を生むチャンスであると考えています。

また、職員は大学行政の専門集団として関与を拡大し、教職協働して多くの成果が得られるように学外にもアンテナを張っておく必要があると考えています。

教職員（場合によっては学生も含め）大学全体の意思統一の手段として、「教育研究の成果」、「学生生活満足度」、「卒業生の動向」、「経営資源」、「学長の動き」など多くの情報をデータ化し、有効的に活用していきたいと考えております。客観的データに基づく戦略的大学運営を推進するために大学 IIR (Institutional Research) センターを設置し、効率的に運営し新たなガバナンス体制

の構築を図ってまいります。

現在、本学（2学部4学科および大学院1研究科3専攻）の学生総数は1,778名（収容定員1,668名）で小規模大学ですが、各教育組織とともに専門分野をリードする存在にあります。獣医学科は、全国に先駆け最近では国際標準に準拠すべくその評価受審に向けて益々教育研究の充実が図られています。動物科学科は経営畜産学から、食品科学科は畜産食品工学から各々のカリキュラムの適用範囲を多様に進化させ、併せ研究室体制の充実をはかり両学科ともに社会のニーズに応え、我が国の畜産学、食品科学を牽引しております。また、獣医保健看護学科は、我が国最初の学科として設置10年が過ぎ、益々多様化する獣医学領域の課題に対応すべく、獣医師以外の獣医療に従事する技術専門職として、次なる第一歩を踏み出そうとしています。

学生が日本獣医生命科学大学で学べてよかったといえるような教育環境の充実を念頭に微力ではありますが精一杯努力していく所存でございますので皆様のご支援・ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

